

岡山大学大学院ヘルスシステム統合科学研究科博士前期課程  
2020年4月入学 一般入試（第2回）

入学試験問題

教育研究分野	人間文化論、日本文化論、医事法学、科学史技術論、臨床死生学、ソーシャル・イノベーション論
科目	論述試験 I

別紙にある、広井良典（2009）『コミュニティを問いなおす——つながり・都市・日本社会の未来』の一部を読んで、以下の設問に答えなさい。

設問 1 近代科学における「特定病因論」の限界を乗り越える考え方として、筆者はどのような病の理解が必要であると論じているか、「現代の病」の性質も踏まえて 150 字以内で説明しなさい。

設問 2 傍線部「個体“間”の相互作用やコミュニケーション、そしてその基盤をなすコミュニティというものが人間（ひいてはその健康や幸福等々）にとってもつ本質的な意味」について、具体的な課題や例をあげて、あなたの専門分野の観点から論じなさい。

以上

岡山大学大学院ヘルスシステム統合科学研究科博士前期課程  
2020年4月入学 一般入試（第2回）

入学試験問題

教育研究分野	日本文化論
科目	論述試験Ⅱ

問題 次のA・Bのいずれかを選択し、解答しなさい。なお、解答にあたり、解答用紙に自分の選択した問題のアルファベットを記しなさい。

A. 次の文章は18世紀後半に書かれた史料である。これを読んで、設問に答えなさい。

（『翁草』142巻。引用は『日本随筆大成 第3期』23巻〈吉川弘文館、1978年〉に拠る。問題作成の都合上、文章を加工している。）

設問1 全文を現代日本語訳せよ。

設問2 江戸時代における老いについて、自分でテーマを設定して論じなさい。

B. 次の文章を読んで、設問に答えなさい。

(柳田国男『先祖の話』。引用は『柳田国男全集』15巻〈筑摩書房、1998年に拠る。問題作成の都合上、文章を加工している。)

設問 1 この文章に示された日本人の死生観についてわかりやすく説明せよ。

設問 2 日本人の死生観について、自分でテーマを設定して論述しなさい。

以 上

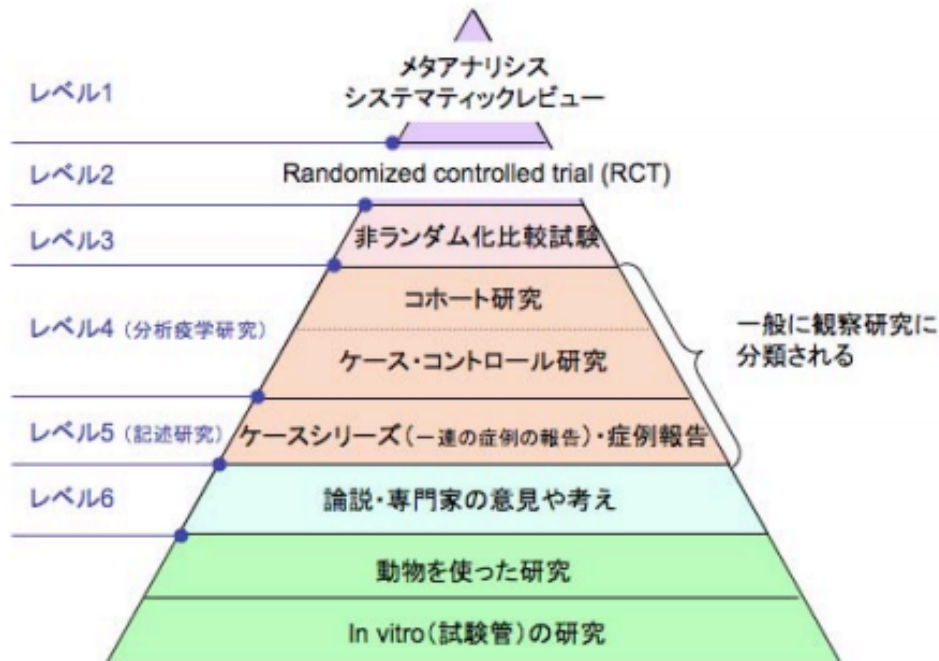
入学試験問題

教育研究分野	ソーシャル・イノベーション論
科目	論述試験Ⅱ

問題 根拠に基づく医療（Evidence Based Medicine）について、次の問1、問2に答えなさい。

問1 以下の図に示されるのは、根拠に基づく医療で求められるエビデンスの信頼性や妥当性の違いを体系的に示したものである。なぜ「専門家の意見・考え」がレベル6として低く評価されているのか、簡潔に説明しなさい。

問2 レベル5（記述研究）以上の任意の1層を選び、発見されるエビデンスの質を、その信頼性や妥当性の観点から説明しなさい。



出所：[http://www.imcj-gdt.jp/topics\\_04.pdf](http://www.imcj-gdt.jp/topics_04.pdf)（2020年1月9日アクセス）

以上